

コミュニティサイクルの 推進について

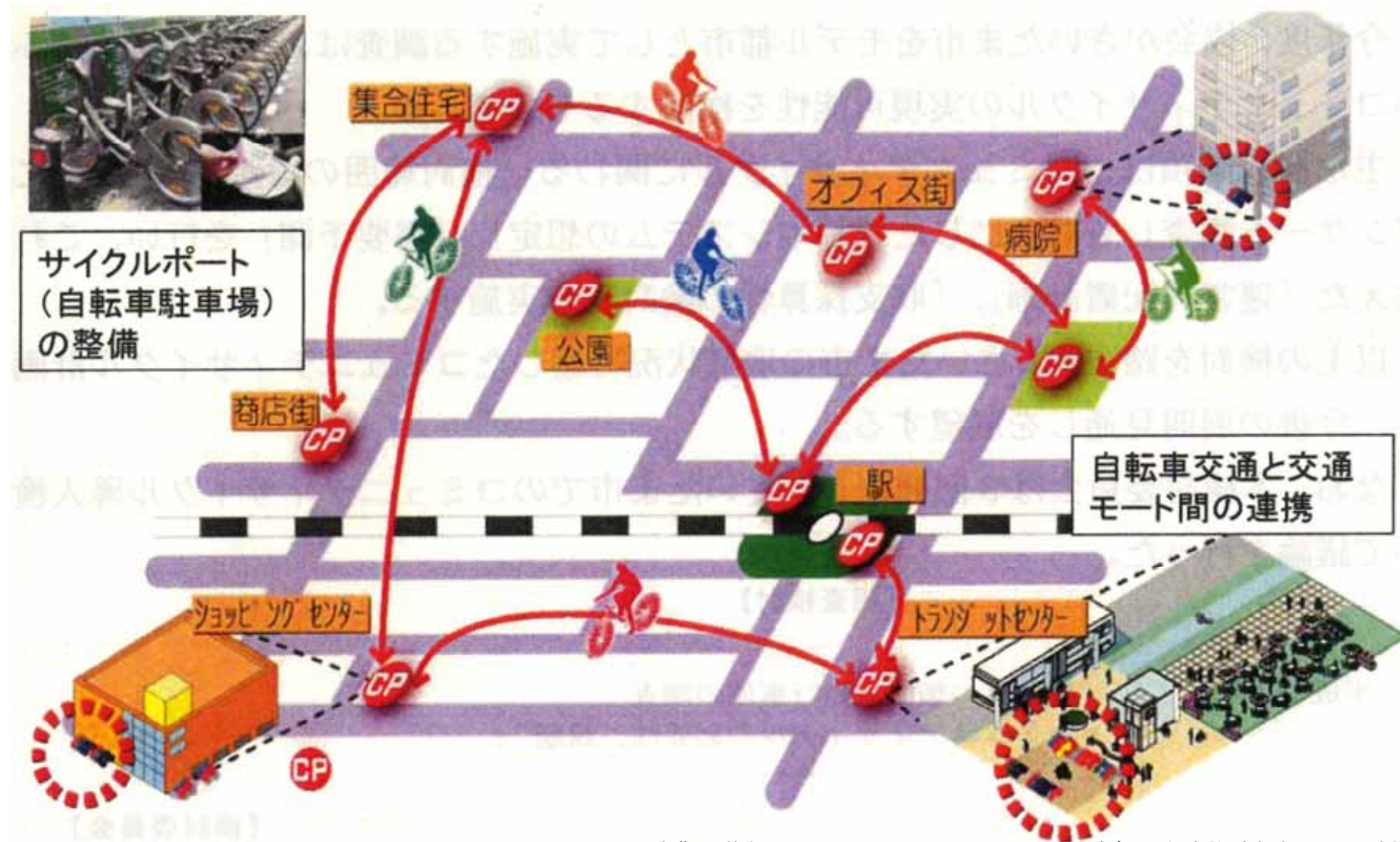
日 時 平成24年7月21日(土) 11:00 ~
会 場 大宮区役所6階 大会議室
所 管 都市局 都市計画部 都市交通課



コミュニティサイクルとは

- 街中に複数の貸出拠点(サイクルポート)を設置し、利用者がどのサイクルポートでも自由に貸出と返却ができる新しい都市交通システムです。
- 借りた場所で返すのが基本のレンタサイクルと違い、元の貸出場所と違う場所に乗り捨て可能なのが特徴です。

コミュニティサイクルレイメージ図





導入目的

- **さいたま市の都心間の連携強化**
- **交通渋滞の緩和**
- **放置自転車の減少**
- **駐輪場建設の低減**
- **短距離移動の利便性向上**
- **都市内の回遊性向上、地域活性化**



これまでの経緯

- 平成21年度
導入可能性調査(フュージビリティスタ
ディ)を実施
- 平成22年度
社会実験を実施
- 平成23年度
さいたま市コミュニティサイクル導入指針
を策定



調査結果(導入可能性調査)

- 対象者: 居住者、従業者、学生、来訪者
- 居住者及び来訪者の約半数がコミュニティサイクルを利用したいとの意向を示しました。
- 約75パーセント以上の方がコミュニティサイクル導入を実現して欲しいとの意向を示しました。

利用状況(社会実験)

	(単位)	さいたま市コミュニティサイクルシステム
実施日数	日	28日(平成22年9月25日～平成22年10月22日)
自転車台数	台	100台(うち10台、電動アシスト付)
ポート数	箇所	5箇所
利用(会員) 登録者数	名	389名
延べ利用回数	回	1,353回
回転率	回/台・日	0.56回/台・日
平均利用時間	分/回	49分/回(平日;45分/回、休日;53分/回)
料金体系	登録料金	300円(別途預かり金700円)
	利用料金	1時間以内無料
		1時間経過以降、100円/時間

サイクルポート 位置図 (社会実験)

- 大宮駅東口
- さいたま新都心駅東口
- 大宮図書館
- 合併記念見沼公園
- 大宮盆栽美術館
計5ポート



サイクルポート例 (社会実験時設置ポート)




サイクルポート例 (社会実験時設置ポート)



サイクルポート例 (社会実験時設置ポート)





分析結果(社会実験)

- 利用者ニーズ

 - 1時間以内の利用が大半(83%)

- 利用者属性

 - 市内(約50%)

- 年齢、職業、目的

 - 偏りはなく、幅広く多目的

4. 社会実験 アンケート調査 (速報値)

■ アンケート回答者数 210名

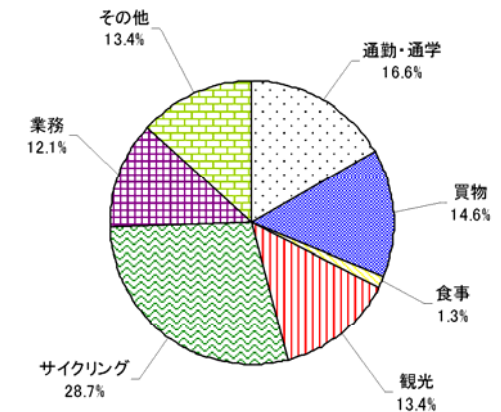
■ 1. コミュニティサイクルを利用しなかった場合の移動手段は(複数回答可)

	選択肢	構成比
1	徒歩	40.7%
2	電車	28.4%
3	バス	15.1%
4	自動車	10.5%
5	タクシー	3.9%
6	バイク	1.4%

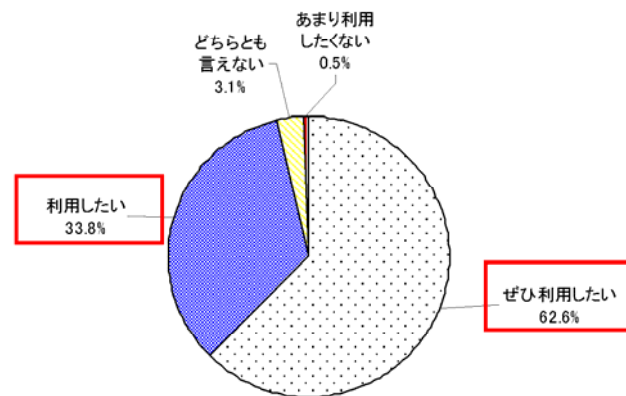
■ 2. コミュニティサイクルの利用により、予定していた行動が変わりましたか(複数回答可)

	選択肢	構成比
1	移動時間が短縮された	33.5%
2	行動範囲が広がった	28.8%
3	立寄り箇所が増えた	23.2%
4	予定より早く用事が終わった	9.7%
5	あまり変わらなかった	2.7%
6	その他	2.1%

■ 3. 利用目的は何ですか？

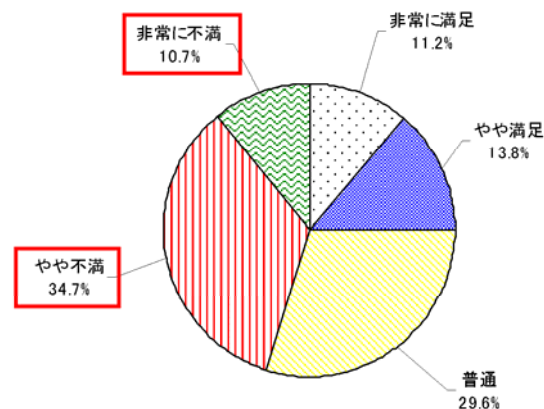


■ 4. 今後コミュニティサイクルを再度利用したいと思いますか？



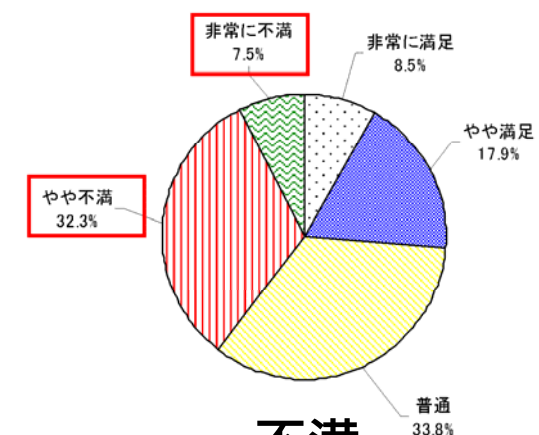
今後も利用したい
(約96%)

■ 5. 利用した感想を教えてください。(サイクルポートの設置数)



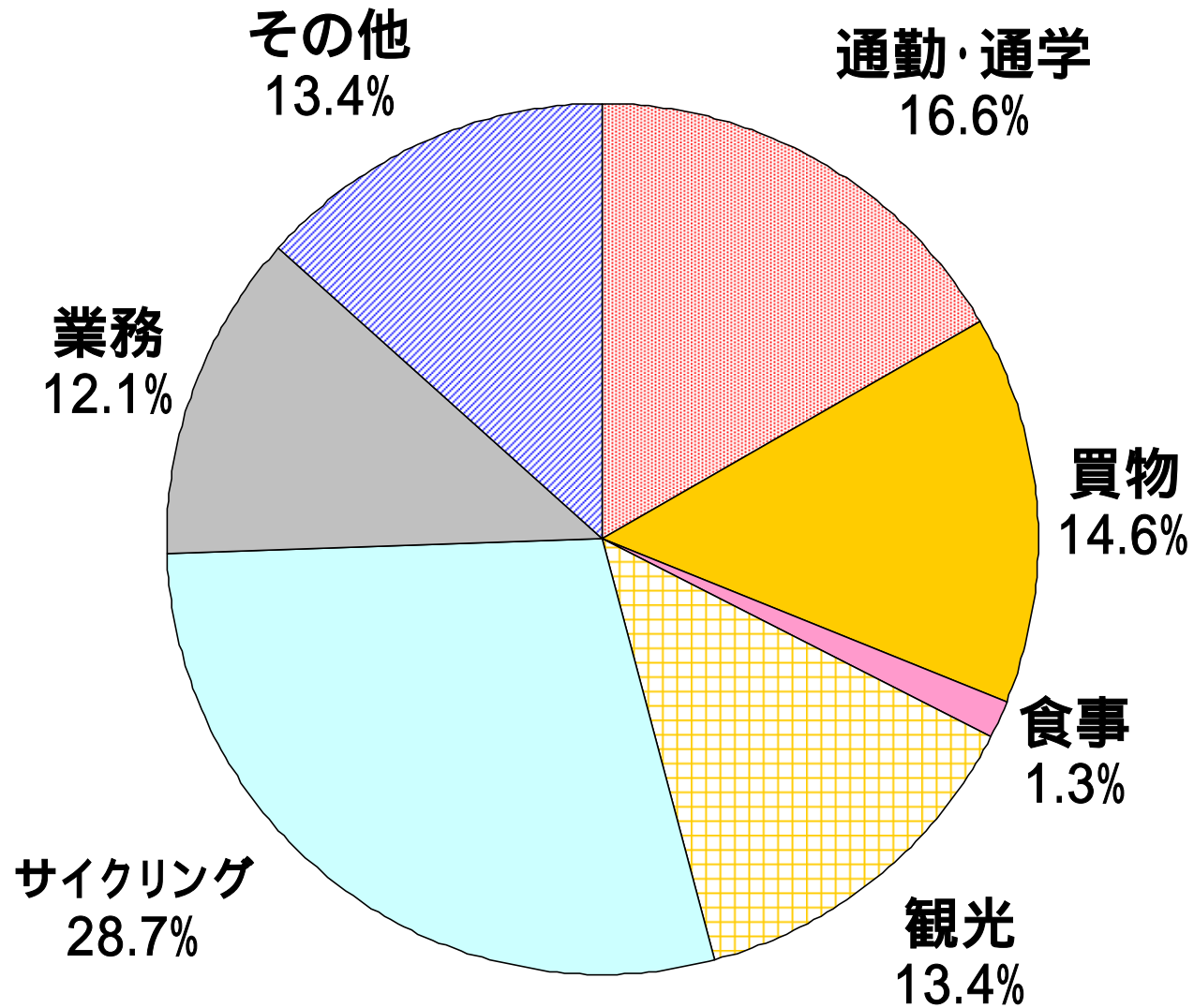
不満
(約45%)

■ 6. 利用した感想を教えてください。(運営時間)

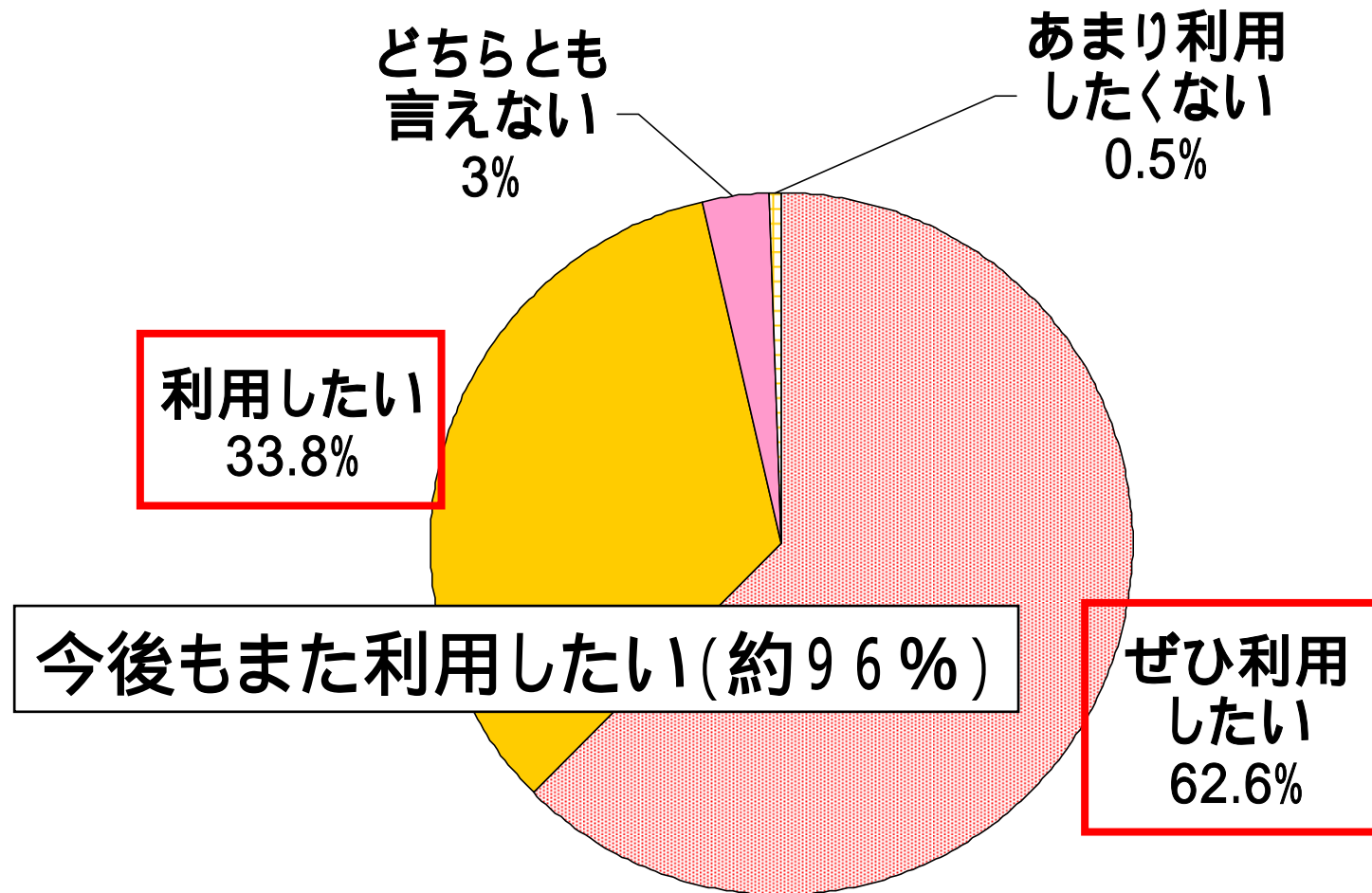


不満
(約40%)

利用目的は何ですか？



今後コミュニティサイクルを再度利用 したいと思いますか？





アンケート結果(社会実験)


■ 利用者の評価

今後もまた利用したい(約96%)

ポート数(不満:約45%)

運営時間(不満:約40%)

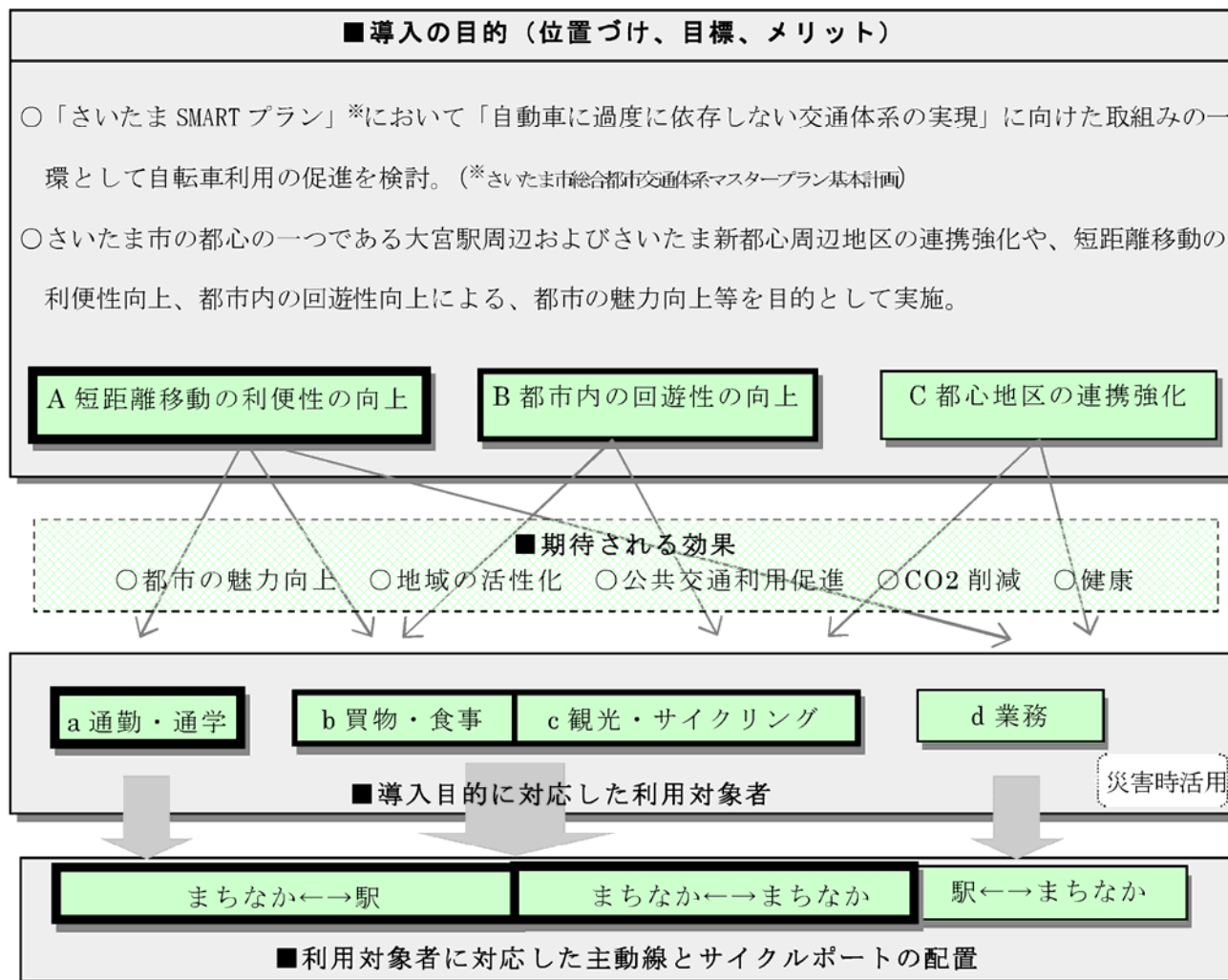
ポート数(5箇所)や運営時間(8:00 ~ 18:00)などが課題となりました。



さいたま市コミュニティサイクル導入指針

- 1) コミュニティサイクル導入の目的とその利用対象者
- 2) 整備計画
- 3) 運営手法

1) コミュニティサイクル導入の目的とその利用対象者





2) 整備計画

- 対象エリア

 - 大宮駅を中心とした半径約3km圏内

- サイクルポート数

 - 20箇所以上

- 自転車台数

 - 全体で200台(ラック400台)以上



3) 運営手法

- 運営期間

10年間以上

- 設置主体

さいたま市 (設置費用の負担上限額あり)

- 運営主体

民間企業など



今後の課題

- 国土交通省が策定中のガイドラインを考慮し、自転車利用環境の研究と並行して本市に相応しいコミュニティサイクルの導入を目指します。